

製品名: CD157 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82867**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG2b |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 35.7kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CD157 |
| 別名 | BST1 |
| 遺伝子 ID | 683.0 |
| SwissProt ID | Q10588 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト CD157 (AA: 82-293) の精製された組み換え断片。 |

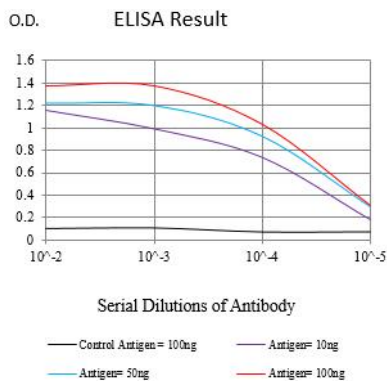
背景

骨髄間質細胞抗原 1 (BST1) は、間質細胞株由来のグリコシルホスファチジルイノシトールアンカー分子であり、プレ B 細胞の増殖を促進します。推定アミノ酸配列は CD38 と 33%の相同性を示します。関節リウマチ患者由来の骨髄間質細胞株では、BST1 の発現が

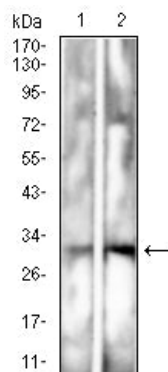
亢進しています。関節リウマチにおけるポリクローナル B 細胞異常は、少なくとも部分的には、間質細胞集団における BST1 の過剰発現に起因すると考えられます。

研究分野

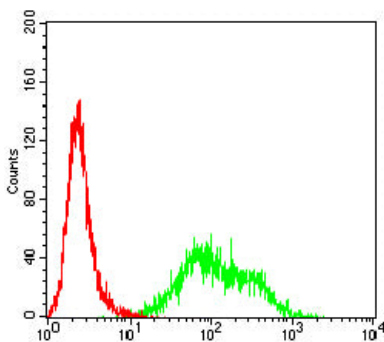
画像データ



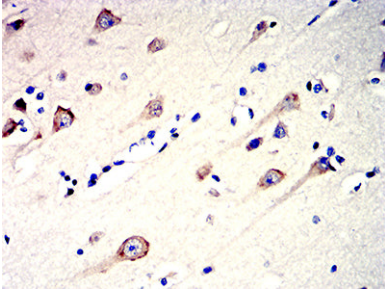
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



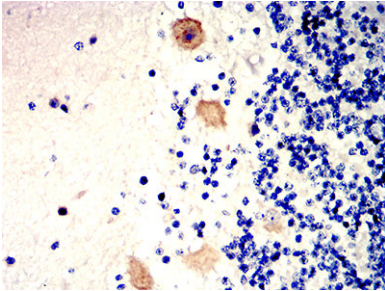
ラット脾臓 (1) およびマウス脾臓 (2) 細胞溶解物に対する CD157 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



CD157 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-6O 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD157 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CD157 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト小脳組織の免疫組織化学分析。